

医療用品06 視力表及び色盲検査表
一般医療機器 視力表 16800000

液晶字づまり視力検査器 CV-7000

【形状・構造及び原理等】*

本体
赤外線コントローラー
専用架台
コントローラースタンド



2. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：なし

3. 電気的定格

本体

電源電圧：AC100V

電源周波数：50 - 60Hz

赤外線コントローラー

電源電圧：DC6V

電源：単三乾電池 8 本

4. 寸法及び重量

寸法：399(W)×845(H)×47(D)mm

重量：10.5kg(本体)

：480g(赤外線コントローラー)

5. 作動・動作原理

(1) 本体

赤外線コントローラーから表示すべき視標の指示が本体に向け無線で送信され、本体は指示を受信し、内部各回路にて指示された視標画像を生成し、液晶ディスプレイ(LCD)に視標が表示される。

(2) 赤外線コントローラー

表面に本体が表示可能な文字のボタンを配置し、ボタンを押すことにより本体に対し表示すべき視標の指示を無線で送信する。文字のボタンを配置したコントローラー視標は別文字配列のコントローラー指標に使用者が交換することが可能である。

【使用目的又は効果】

本器は、人の遠距離視力を自覚的に検査する為に用いる。

【操作方法又は使用方法等】

- (1) 本体右側側面にある電源スイッチを ON にする。
- (2) 赤外線コントローラーの字ひとつ、マーカーのいずれかのボタンを押す。
- (3) 表示させたい視力値の視標ボタンを押す。
- (4) 本体に表示された視標を被検者に読んでもらい、3、で押した視力値ボタンの文字と比べ正誤を判定する。
- (5) コントラスト検査を行いたい場合、25%、12%、6%のいずれかのボタンを押して、3、4 の操作を行う。終了したら 100%ボタンを押す。
- (6) 特殊指標検査を行いたい場合、各ボタンにより目的の視標が表示されるようボタンを押す。
- (7) 本体に表示された特殊視標に対する被検者の視認内容を回答してもらう事で、被検者の視機能を判定する。

【使用上の注意】

1. 使用前の注意

- ・不安定な床で使用しない。
- ・水や薬品がかかる場所で使用しない。
- ・コードに重いものを載せたり、挟んだりしない。
- ・専用架台を壁タイプで使用する場合、必ず転倒防止金具を取り付ける。
- ・濡れた手で電源コードをコンセントから抜き差ししない。
- ・電源コードはアース付きの壁コンセントに接続する。
- ・赤外線コントローラーの乾電池を新旧混在で使用しない。
- ・電源コードは製造銘板に表示されている電圧と周波数の条件に合うコンセントに接続し使用する。
- ・可燃性薬品、可燃性ガス、高濃度の酸素がある場所で使用しない。

2. 使用中の注意

- ・装置にもたれかかる、つかまる、上から押さえつけるなどの行為を行わない。
- ・接触可能なコネクタ部分と被検者に同時に触れない。
- ・装置には指定された機器以外を接続しない。

3. その他の注意

- ・装置に、発煙、異臭、異常音などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売代理店へ連絡する。

取扱説明書を必ずご参照ください

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管環境

下記の条件で保管すること。

温度:-10～+55℃

相対湿度:10～95% (結露のないこと)

気圧:700～1060hPa

2. 耐用期間

適切な使用を行った場合に限り、8年

[自己認証(当社データ)による]

3. 保管

- ・水のかからない場所に保管する。
- ・気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分等を含んだ空気により悪影響の生じる恐れのない場所に保管する。
- ・傾斜、振動、衝撃等がない安定した場所に保管する。

【保守・点検に係る事項】

1. 日常の手入れ

- ・本体、赤外線コントローラーの外装は乾いた布等で拭く。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤に浸して硬く絞った布で拭き、その後乾拭きをする。
- ・本体液晶ディスプレイ (LCD) が汚れた場合は市販の液晶ディスプレイ用クリーナーを用いて拭く。
- ・赤外線コントローラーの吸着シートは、中性洗剤に浸して硬く絞った布で拭く。吸着シートが汚れないようコントローラー視標を常に装着しておく事。

2. 取扱い業者による保守点検

- ・使用者による保守点検事項と同等の内容
- ・装置の機能、性能に関する保守点検は取扱い業者では行わず製造販売業者へ連絡をしてください。

【製造販売業者および製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者

株式会社タカギセイコー

製造業者

株式会社タカギセイコー

取扱説明書を必ずご参照ください